

初の6月定例議会を終えました。とても緊張しました。代表質問の中で、足利市の現状と課題を認識しそれを解決していこうという議員さんの熱意を感じ、それに応えていかなければという思いを強くしました。

質問の中で、市民会館整備に関する質問・意見を複数の議員さんからいただきました。

まず、これまでの経過を振り返りますと、足利市は「市民会館を取り壊し、その土地を新設する県立高校へ提供する（県有地と交換）。新市民会館は市民プラザへ統合する」と足利市ホームページで公表しました。

しかし、私は市民や団体の方々とお話をする中で、市民会館整備に関する議論や説明が十分になされていないと感じていました。そこで、就任時の会見において質問された際に、「議論が不十分ではないか。改めて丁寧に進めていく必要があると思う。」とお答えしました。

今回の市議会定例会議でも、質問の真意として「市民プラザ統合は適切ではない」という意見が複数あり、議会との議論も十分ではなかったと感じています。周辺の交通渋滞、駐車場不足、障がい者スポーツセンターの今後、等クリアすべき課題が多いとの指摘もあります。市民の皆様も同様に感じている方が少なくないようです。

さらに、市有地を有効活用し、具体的に「競馬場跡地がいいのではないか」という提言もありました。もともと高等教育機関の誘致を検討した有望な土地であり、有効活用すべき大切な市民の財産である、という背景に関する言及もありました。

それぞれの候補地に長所短所があり、推薦する方々のお考えがあります。

利用者、主催者（興行者）それぞれの視点から新市民会館に求められる機能・役割は何か、現市民会館から受け継ぐもの・役割は何か、地域バランス等、複合的な観点からの判断が求められていると思っています。

どのような形で意見聴取や議論を進めていくか、検討してまいります。